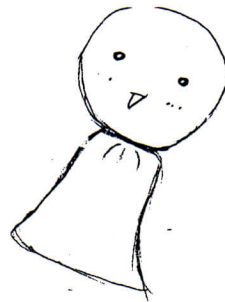


Together



徳島県立穴吹高等学校
人権啓発新聞「Together」第1号
2014年6月25日 発行
ビューマレライツ部

今年最初の人権啓発新聞「Together」です。

この新聞では、穴吹高校での人権活動や授業について報告するとともに、人権について考えてもらえるような内容についてもらえるような内容にしていこうと思っております。また、この新聞をきっかけに家族の方々と人権について話し合ってくれればと願っています。

ビューマレライツ部とは...

3年生4人、2年生1人、1年生2人の計7人で活動しています。活動内容は人権について学習したり、他校の生徒たちとの人権交流集会に参加したりしています。もっと仲間を増やしたいので入部希望の方は気軽にビューマレライツ部員や先生方へ声をかけて下さい。お待ちしております。

人権ホームルーム活動

毎年、年間5回の人権LHRを実施しています。
これまでに行った授業の内容と感想を紹介したいと思います。

1年生

- 第1回 「いじめについて」
- 第2回 「同和カルタについて」

- 最近ではネットでのいじめが増加しているけど、あまり重くはとれないので考える機会がなくてよかった。ネットの拡散性や不特定多数の目に見られるのがとても危険なことなのかわかった。
- 同和カルタを学習して、部落差別によるミミズ起こされるさまざまな問題について知りました。「男女差別」「いじめ」「部落差別」とは友達の間近にあることを学びました。

2年生

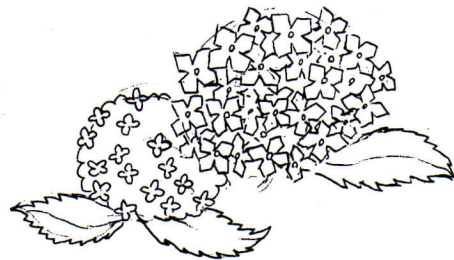
- 第1回 「いじめについて」
- 第2回 「障害者差別について」

- たとえ仲のよい友達であっても、どのような言葉もかけるのかどのような行動をとるのかで、お互いの関係は変わってしまいます。相手もOK、私もOKにはる言動について話し合いました。
- ユニバーカルデザインは、全マッ人が気持ちよく生活するために必要だと思ふ。いろんなものが開発されて、いろいろなことで使われているのかわかった。
- 電車が遅れていることを放送する時に、車イスを利用している人のせいで電車が遅れていると放送するのは、遅延の感がある。自分はそれが身障者車イスの移動を手伝いたい。人の助けになりたいと思ふ。

3年生

- 第1回 「いじめについて」
- 第2回 「就職差別について」

- これからの1年で、自分の進路のことなどで悩むことがあると思う。そんな時に自分の焦りや不安を素直に友達に相談できる関係をつくりたいと思ふ。
- 私は身長や血液型など、自分の責任ではどうしようもないことで採用を決められるのはおかしいと思ふ。その会社に入社して頑張っているかどうかは自分が努力できることと判断してほしいと思ふ。また、自分の進路を実現するために自分が努力できる勉強を、と必死にがんばりたい。



～校内人権の日～

穴吹高校では、月に1回、身近な人権問題について話し合う校内人権の日があります。

④ 「言葉」について

私は言葉には不思議な力が宿っていると思ふ。なぜなら言葉は、相手にやる気などを与える力があつたり逆に相手を傷つける力もあると感じるからです。また言葉はそのままに相手へ言うことで自分にも返ってくるので、相手だけでなく自分のためにも無責任な言葉を使わないようにしようと思ふ。

⑤ 人権教育映画「青い鳥」を鑑賞して

いじめの加害者が自分のした事に対して罪悪感を抱き、自分の責任について考える場面が印象に残りました。この映画を見て今一度人権について考え直したいと思ふ。